



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月6日

上場会社名 豊和工業株式会社 上場取引所 東 名
コード番号 6203 URL <https://www.howa.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 高広
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務部門長 (氏名) 北村 誠 TEL 052-408-1001
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	4,673	△10.0	430	△0.7	564	11.2	381	10.1
2026年3月期第1四半期	5,192	13.9	433	238.3	507	92.0	346	72.1

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 1,577百万円 (436.4%) 2026年3月期第1四半期 294百万円 (△56.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	31.59	-
2026年3月期第1四半期	28.76	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	37,248	22,385	60.0
2026年3月期	35,826	21,025	58.7

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 22,353百万円 2026年3月期 21,025百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	-	0.00	-	20.00	20.00
2027年3月期	-				
2027年3月期（予想）		0.00	-	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,560	△2.1	1,410	18.9	1,580	14.3	1,080	45.7	89.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) マシンサービス株式会社、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	12,548,134株	2026年3月期	12,548,134株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	476,899株	2026年3月期	476,889株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	12,071,235株	2026年3月期1Q	12,060,672株

(注) 期末自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式(2027年3月期1Q 170,404株、2026年3月期 170,404株)が含まれております。また、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めております。(2027年3月期1Q 170,404株、2026年3月期1Q 170,500株)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象の注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、中東情勢や物価上昇、金融資本市場の変動の影響などに注視する必要があります。先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループでは、「収益構造の抜本的な改革」を基本方針とする中期経営計画（2026年3月期～2028年3月期）の2年目にあたり、引き続き、低成長・不採算事業の構造改革の実施、既存事業の生産性向上、コスト削減、販売力の強化による稼ぐ力の強化、顧客ニーズを捉えた競争力のある製品開発や新市場への投入による将来事業の創出などを図り、持続的な成長による企業価値向上のための取組みを推進しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は4,673百万円（前年同四半期比10.0%減）、営業利益は430百万円（同0.7%減）となりました。また、営業外収益に受取配当金などを計上した結果、経常利益は564百万円（同11.2%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は381百万円（同10.1%増）となりました。

主なセグメント別の概況は以下の通りです。

(工作機械関連)

工作機械は、主要顧客である自動車関連業界向け案件の売上が減少しました。また、空油圧機器も、受注は増加したものの当期間での売上が減少しました。利益面では、工作機械において高収益案件が当期間に多く完了したことに伴い利益率が向上し、全体の利益額が増加しました。

この結果、工作機械関連事業は、前年同四半期と比較して減収ながらも黒字化となりました。

(火器)

防衛装備品は、防衛省向け20式5.56mm小銃の納入が計画通りに進捗したことで販売数量が増加し、その他の防衛装備品の売上も増加しました。さらに、海外向けスポーツライフルは、米国市場の需要回復の兆しがあり、販売数量が増加しました。利益面では、販売数量の増加や円安効果により収益性が向上しました。しかしながら、前年同四半期に計上した防衛生産基盤強化法に基づく特定取組契約による収益が剥落しました。

この結果、火器事業は、前年同四半期と比較して減収減益となりました。

(特装車両)

路面清掃車は、モデルチェンジによる販売の移行期であることから当期間の出荷はなく、産業用清掃機も販売台数が減少しました。利益面では、生産量の減少により収益性が低下しました。また、4月より路面清掃車のリースビジネスを展開するにあたり販売総代理店である英和株式会社と共同でマシンサービス株式会社を買収し運営を開始しました。

この結果、特装車両事業は、前年同四半期と比較して減収かつ赤字拡大となりました。

(建材)

防音サッシは、防衛予算の順調な執行と受注獲得により売上が増加し、一般サッシも売上が増加しました。しかしながら、防水製品は、受注は増加したものの当期間での売上が減少しました。利益面では、売上の増加により収益性が向上しました。

この結果、建材事業は、前年同四半期と比較して増収かつ黒字化となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、37,248百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,421百万円増加しました。これは、主として、投資有価証券の増加1,745百万円、仕掛品の増加921百万円、現金及び預金の増加673百万円と受取手形、売掛金及び契約資産の減少1,992百万円によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、14,863百万円となり、前連結会計年度末に比べ61百万円増加しました。これは、主として繰延税金負債の増加557百万円、未払費用の増加226百万円、長期借入金の増加218百万円と

未払消費税等の減少313百万円、短期借入金の減少308百万円、未払法人税等の減少167百万円、賞与引当金の減少119百万円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、22,385百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,360百万円増加しました。これは、主として、その他有価証券評価差額金の増加1,195百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の通期連結業績予想につきましては、2026年5月15日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,188	6,861
受取手形、売掛金及び契約資産	6,088	4,096
電子記録債権	2,456	2,269
リース投資資産	1,004	996
商品及び製品	928	1,074
仕掛品	3,357	4,279
原材料及び貯蔵品	904	966
その他	423	412
貸倒引当金	△85	△83
流動資産合計	21,269	20,874
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,653	1,626
その他（純額）	3,159	3,124
有形固定資産合計	4,812	4,750
無形固定資産	173	144
投資その他の資産		
投資有価証券	8,733	10,479
退職給付に係る資産	405	405
その他	452	613
貸倒引当金	△19	△19
投資その他の資産合計	9,571	11,478
固定資産合計	14,557	16,374
資産合計	35,826	37,248
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,242	2,294
電子記録債務	48	58
短期借入金	2,634	2,326
未払金	109	73
未払費用	546	773
未払法人税等	364	197
未払消費税等	332	19
契約負債	728	666
賞与引当金	264	144
工事損失引当金	0	0
製品保証引当金	119	117
受注損失引当金	9	0
その他	79	83
流動負債合計	7,478	6,755

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
固定負債		
長期借入金	4,012	4,230
繰延税金負債	2,077	2,634
退職給付に係る負債	709	720
資産除去債務	61	62
株式給付引当金	19	19
事業整理損失引当金	32	33
その他	411	406
固定負債合計	7,322	8,107
負債合計	14,801	14,863
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,019	9,019
資本剰余金	1	1
利益剰余金	7,233	7,369
自己株式	△392	△392
株主資本合計	15,862	15,999
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,823	6,018
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	129	132
退職給付に係る調整累計額	209	203
その他の包括利益累計額合計	5,162	6,354
非支配株主持分	—	32
純資産合計	21,025	22,385
負債純資産合計	35,826	37,248

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	5,192	4,673
売上原価	4,037	3,475
売上総利益	1,154	1,198
販売費及び一般管理費	721	767
営業利益	433	430
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	113	127
雑収入	13	35
営業外収益合計	127	163
営業外費用		
支払利息	14	16
遊休資産維持管理費用	6	4
保険料	3	5
為替差損	25	—
雑損失	3	2
営業外費用合計	53	29
経常利益	507	564
特別利益		
固定資産売却益	0	2
ゴルフ会員権売却益	5	—
負ののれん発生益	—	1
その他	—	0
特別利益合計	6	4
特別損失		
減損損失	1	—
固定資産除売却損	—	0
投資有価証券売却損	—	0
その他	0	—
特別損失合計	1	0
税金等調整前四半期純利益	512	568
法人税等	165	182
四半期純利益	346	386
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	346	381

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	346	386
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40	1,195
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	△11	2
退職給付に係る調整額	△0	△6
その他の包括利益合計	△52	1,191
四半期包括利益	294	1,577
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	294	1,573
非支配株主に係る四半期包括利益	—	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	144百万円	145百万円

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、当社の株価や業績と従業員の処遇の連動性をより高め、経済的な効果を株主の皆様と共有することにより、株価及び業績向上への従業員の意欲や士気を高めるため、従業員に対して自社の株式を給付するインセンティブプラン「株式給付信託（J-ESOP）」（以下「本制度」といいます。）を導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、米国のESOP（Employee Stock Ownership Plan）制度を参考にした信託型のスキームであり、予め当社が定めた株式給付規程に基づき、一定の要件を満たした当社の従業員に対し当社株式を給付する仕組みです。

当社は、従業員に対し入社、勤続年数及び個人の業績への貢献度に応じてポイントを付与し、一定の条件により受給権を取得したときに当該付与ポイントに相当する当社株式を給付します。従業員に対し給付する株式については、予め信託設定した金銭により将来分も含め取得し、信託財産として分別管理するものとします。

本制度の導入により、従業員の株価及び業績向上への関心が高まり、これまで以上に意欲的に業務に取り組むことに寄与することが期待されます。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く）により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額および株式数は、前連結会計年度末において137百万円、170,404株、当第1四半期連結会計期間末において137百万円、170,404株であります。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント								その他 (注) 1	合 計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (注) 3
	工作機械 関連	火 器	特装車 両	建 材	不動産 賃貸	国内販売 子会社	国内運送 子会社	計				
売上高												
外部顧客 への売上 高	1,865	1,604	314	575	123	498	176	5,159	32	5,192	—	5,192
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	94	3	3	2	6	93	102	305	8	314	△314	—
計	1,960	1,607	317	578	129	592	279	5,464	41	5,506	△314	5,192
セグメント 利益又は損 失 (△)	△106	459	△35	△22	102	20	3	421	8	429	3	433

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等3百万円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産の減損損失額に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント								その他 (注) 1	合 計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (注) 3
	工作機械 関連	火 器	特装車 両	建 材	不動産 賃貸	国内販売 子会社	国内運送 子会社	計				
売上高												
外部顧客 への売上 高	1,451	1,534	152	733	128	505	135	4,641	32	4,673	—	4,673
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	65	3	0	8	5	75	116	274	—	274	△274	—
計	1,516	1,537	153	742	134	580	251	4,916	32	4,948	△274	4,673
セグメント 利益又は損 失 (△)	218	88	△59	38	102	26	△3	411	18	430	0	430

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去等 0 百万円であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

負ののれん発生益に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な後発事象の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2026年8月6日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得に係る事項について決議いたしました。

(1) 自己株式取得を行う理由

経営環境の変化に応じた機動的な資本政策を遂行することを可能とするため、自己株式の取得を行うことを決定いたしました。

なお、本自己株式取得により取得する株式は、従業員に対するインセンティブプラン「株式給付信託（J-ESOP）」において、今後の株式交付等に必要となる追加信託（追加拠出）に充当する予定であります。

(2) 取得に係る事項の内容

①取得する株式の種類 : 当社普通株式

②取得する株式の総数 : 60,000株（上限）

（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合0.49%）

③株式の取得価額の総額 : 上記②の数に2026年8月6日の東京証券取引所における当社株式の終値を乗じた額（上限）

④取得日 : 2026年8月7日（予定）

⑤取得の方法 : 東京証券取引所の自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）による買付け

(第三者割当による自己株式の処分)

当社は、2026年8月6日の取締役会にて、第三者割当により自己株式を処分することを決議いたしました。当社では、2024年5月15日開催の取締役会の決議に基づき、従業員に対して自社の株式を給付するインセンティブプラン「株式給付信託（J-ESOP）」（以下「本制度」といい、本制度に関してみずほ信託銀行株式会社と締結する信託契約に基づいて設定されている信託を「本信託」と言います。）を導入しております。本制度の継続に当たり、将来の給付に必要と見込まれる株式を本信託が取得するため、本信託に対する金銭の追加拠出を行うこと、並びに本制度の運用に当たって当社株式の保有及び処分を行うため株式会社日本カストディ銀行（本信託の受託者たるみずほ信託銀行株式会社から再信託を受けた再信託受託者）に設定されている信託E口に対し、第三者割当により自己株式を処分することを決定いたしました。

(1) 処分期日 : 2026年8月24日

(2) 処分する株式の種類及び数 : 普通株式300,909株

(3) 処分価額 : 1株につき金1,475円

(4) 処分総額 : 443,840,775円

(5) 処分予定先 : 株式会社日本カストディ銀行（信託E口）

(6) その他 : 本自己株式処分については、金融商品取引法による臨時報告書を提出いたします。